

財 務 情 報 他

令和4年度

学校法人 赤門学院

専門学校 赤門自動車整備大学校

1. 貸借対照表

令和5年3月31日現在		(単位:円)
科 目	金 額	
固定資産	2,923,384,984	
流動資産	3,293,408,366	
資産の部合計	6,216,793,350	
固定負債	14,850,282	
流動負債	75,878,317	
負債の部合計	90,728,599	
基本金の部	2,215,090,179	
繰越収支差額の部	3,910,974,572	
純資産の部合計	6,126,064,751	
負債及び純資産の部合計	6,216,793,350	

2. 収支決算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日		(単位:円)
・資金収支計算書		(単位:円)
科 目	金 額	
学生生徒等納付金収入	202,254,305	
手数料収入	3,079,320	
寄付金収入	0	
補助金収入	9,412,768	
資産売却収入	100,000,000	
付随事業・収益事業収入	23,438,457	
受取利息・配当金収入	23,705,485	
雑収入	6,646,068	
借入金等収入	0	
前受金収入	24,401,632	
その他収入	19,450,075	
資金収入調整勘定	△51,281,530	
前年度繰越支払資金	3,490,843,089	
収入の部合計	3,851,949,669	
科 目	金 額	
人件費支出	132,493,125	
教育研究経費支出	49,189,774	
管理経費支出	34,346,634	
借入金等利息支出	0	
借入金等返済支出	0	
施設関係支出	48,003,111	
設備関係支出	44,955,770	
資産運用支出	306,348,320	
その他の支出	31,940,926	
資金支出調整勘定	△56,682,728	
次年度繰越支払資金	3,261,354,737	
支出の部合計	3,851,949,669	

令和4年4月1日～令和5年3月31日

・事業活動収支計算書

(単位:円)

科 目		金 額	
教育活動収支	収 入	学生生徒等納付金	202,254,305
		手数料	3,079,320
		寄付金	7,874,459
		経常費等補助金	9,412,768
		付随事業収入	16,438,457
		雑収入	7,068,688
		教育活動収入計	246,127,997
	支 出	人件費	128,404,836
		教育研究経費	120,214,511
		管理経費	29,164,641
教育活動支出計		277,783,988	
教育活動収支差額		△ 31,655,991	
教育活動外収支	収 入	受取利息・配当金	23,705,485
		その他の教育活動外収入	7,000,000
		教育活動外収入計	30,705,485
	支 出	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額		30,705,485	
経常収支差額		△ 950,506	
特別収支	収 入	資産売却差額	0
		その他の特別収入	140,550,000
		特別収入計	140,550,000
	支 出	資産処分差額	66,434,052
		その他の特別支出	0
		特別支出計	66,434,052
特別収支差額		74,115,948	
基本金組入前当年度収支差額		73,165,442	
基本金組入額合計		△ 95,770,452	
当年度収支差額		△ 22,605,010	
前年度繰越収支差額		3,933,579,582	
翌年度繰越収支差額		3,910,974,572	

財 産 目 録

学校法人 赤門学院

令和5年3月31日 現在

I 資産の部

法人全体

(単位:円)

勘 定 科 目	内 訳	金 額	科目別計
1 基本財産	合 計	2,022,616,635	2,022,616,635
有形固定資産	計	2,022,616,635	2,022,616,635
土地	青葉区川内川前丁61番地 他	976,412,544	976,412,544
建物	整備大学校校舎・学生寮及び専門職大学校舎	686,329,527	686,329,527
建物付属設備	上記建物の付属設備	168,356,219	168,356,219
構築物	上記建物の付属設備	112,425,047	112,425,047
機械装置	二柱リフト・ホイールバランス 他	11,325,895	11,325,895
什器備品	業務用縦型冷蔵庫 他	34,361,674	34,361,674
車両運搬具	連絡車 他	260,614	260,614
一括償却資産	パソコン 他	763,274	763,274
建設仮勘定	専門大学校舎内備品 他	24,318,428	24,318,428
美術品		8,063,413	8,063,413
2 運用財産	合 計	4,714,338,988	4,714,338,988
現金預金	計	3,456,411,306	3,456,411,306
現金	現金手元有高	481,552	
	付属工場(ビークル)現金	4,731,260	
	オートハイテクニカルセンター川内現金	520,436	5,733,248
郵便振替口座	仙台事務センター	571,477,812	
	萩生郵便局	845,980	572,323,792
郵便貯金	仙台南川内郵便局	317,883	
	萩生郵便局	311,393	629,276
普通預金	きらやか銀行仙台支店	343,055,232	
	山形銀行	219,991,885	
	七十七銀行二日町支店	37,969,294	
	七十七銀行宮城町支店	39,468,948	
	大和ネクスト銀行	100,009,360	
	大和ネクスト銀行(外貨)	65,839	
	三菱UFJ銀行	3,300,849	743,861,407
定期預金	きらやか銀行仙台支店	330,554,573	
	大和ネクスト銀行	1,803,309,010	
	大和ネクスト銀行(外貨)	0	2,133,863,583
その他の流動資産	計	48,472,481	48,472,481
売掛金	赤門自動車学校 他	3,856,946	3,856,946
商品	ワッペン・ステッカー・帽子 他	351,264	351,264
原材料	食材調味料 他	3,251,746	3,251,746
貯蔵品	募集要項及びパンフレット 他	8,842,567	8,842,567
仕掛品	付属整備工場仕掛品	37,661	37,661
立替金	就学支援金返還分 他	1,346,400	1,346,400
未収入金	未収授業料 他	22,468,397	22,468,397
前払費用	自賠償保険料 他	654,995	654,995
仮払金	きらやかカード決済払い	81,646	81,646
預け金	豪ドル建て有価証券利息預け分	7,580,859	7,580,859
その他の固定資産	計	1,209,455,201	1,209,455,201
ソフトウェア	学校法人会計ソフト 他	5,063,423	5,063,423
電話加入権		47,620	47,620
施設利用権	専門職大学 寄宿舎水道加入金	121,419	121,419
有価証券	大和証券 他	666,412,273	666,412,273
収益事業元入金		537,533,286	537,533,286
預託金	自動車リサイクル促進センター	177,180	177,180
保証金	マツダパーツ(株) 他	100,000	100,000
	資産の部 合計	6,736,955,623	6,736,955,623

財 産 目 録

学校法人 赤門学院

令和5年3月31日 現在

Ⅱ 負債の部

法人全体

勘 定 科 目	内 訳	金 額	科目別計
1 流動負債	合 計	107,972,026	107,972,026
未払金	未払法人税等・諸経費支払未決済額 他	65,882,470	65,882,470
前受金	授業料・前受家賃・付属整備工場等	34,051,648	34,051,648
預り保証金	敷金 他	5,367,790	5,367,790
預り金	国家試験受験料・アルバム旅費 他	2,670,118	2,670,118
2 固定負債	合 計	17,901,582	17,901,582
退職給与引当金	教職員	17,856,582	17,856,582
入寮保証金	学生寮の入寮保証金	45,000	45,000
	負債の部 合計	125,873,608	125,873,608
	正味財産 合計	6,611,082,015	6,611,082,015

学校法人 赤門学院

令和4年度事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

[I] 学校の重点事項

(1) 教育計画

① 自動車整備士国家資格について

全科の自動車整備士国家試験の合格率について各科目 100%達成を目指し指導した。
1・2級科2年生については全科目の全員合格は達成できなかったが、日本人クラスは2級ガソリンが97.1%、2級ジーゼルが91.4%であった。留学生クラスは2級ガソリンが100%、2級ジーゼルが98.9%であった。1級自動車整備士科4年の1級小型は筆記試験合格率が83.3%、口述試験は5月14日であり、筆記試験結果は5月29日前後の予定である。3級科3年は3級ガソリン・3級ジーゼル共に100%、3級シャシは合格率77.7%であった。

② 就職活動について

各科とも自動車関連企業に内定を頂き、外国人留学生も含めて内定率100%を達成することができた。

③ 学力向上対策について

学科授業において、国家試験の過去問題を解くために必要な知識の習得に重点を置いて展開した。各科とも直近の国家試験問題について詳細な分析を行い、国家試験問題をベースとした新規予想問題を作成。新規予想問題を織り交ぜた模擬試験を制作し、協会模擬試験、卒業試験等に向けて模擬試験を活用した繰り返し学習を行った。学生個々の苦手分野把握に努め、苦手克服に取り組んだ。

④ ソーシャル検定について

年間授業計画にソーシャル検定のテキストを使用した学科授業を取り入れ、ビジネスマナーを中心とした教育を行ってきた。ソーシャル検定中級、上級共に対象の学生が受験した。授業において合格率100%を目指した取り組みを行ってきたが、日本人が中級53%、留学生が0%、上級8.8%という結果であった。

⑤ 補習授業対象となる生徒及び休退学者を減らすことについて

欠席の多い学生については、昨年度同様、根気強く担任以外の教員も指導を行い保護者にも連絡を密に取り、家庭でも協力して頂いた結果、昨年と比較して減少傾向となったが、新型コロナウイルス関連での欠席や休校に伴う補習は増加傾向となった。

⑥ 社会教育・躰教育について

学生においては一般教養の時間を中心に、社会人において必要な最低限のスキルについて学習し、レベルアップを図ってきた。進路指導や進路相談では、就職試験での面接試験を想定した立ち振る舞いや会話力の向上、また実習授業では挨拶訓練や学生一人一人が全員の前で話をする「一分間スピーチ」やディスカッションを取り組み、コミュニケーション能力の向上に取り組み、入学時と比べ能力が大きく向上した学生も多くみられた。

⑦ 電気自動車やハイブリッド車の授業への取入れについて

2級科においてはハイブリッド車(トヨタプリウス)を使用した実習を行い、車両の構造や作動、整備時の注意点などを学ぶと共に、救急救命の知識も学び、低圧電気自動車特別教育修了証を取得させた。また1級科においてはプリウス・アクア・ノート e-power の整備作業に準拠し、高電圧部品の交換作業等を実習授業内で行わせた。

⑧ 2級自動車整備士科の実習選択コースの内容充実について

2級科2年生を対象に「四輪」「カート・エコラン車両製作」「電装」3つのコースを設立し、学生が希望するコースを受講するスタイルで授業を行う予定であったが、新型コロナウイルス増加に伴い、「四輪」「電装」2つのコースに変更し行った。自分が関心の強いジャンルの勉強をすることで、楽しみながら教養を深めることができた。

⑨ 学生の授業への取り組み強化について

自動車の高度化に伴い勉強も難易度を増し、理解するのが難しくなってきたことを踏まえ、学生がなるべく理解しやすく興味を持って学習できるようにするため、スライドを使用して動画やアニメーション、パワーポイントで制作したプレゼンテーション資料を活用し、授業を行った。

⑩ 新入生を対象とした作並テストコースでのカート走行体験授業について

令和4年10月5日、10月6日、10月7日と3日間に分けて新入生を対象にカート走行体験授業を実施し、カートを操縦して走る楽しさを体験した。

⑪ 自動車の構造がどのようになっているか、またその動きを学ぶために実習授業でラジコンカーの組み立てを行い、本年度7年目となる赤門杯ラジコンカーレース大会を年3回開催することについて自動車の構造がどのようになっているか、またその動きを学ぶために実習授業でラジコンカーの組み立てを行い、年3回のラジコンレース大会を計画したが、第1戦(5月17日)、第2戦(7月12日)、第3戦(10月11日)で行った。

⑫ オリジナルカーの製作を通して、技術と造る喜びを感じる授業とすることについて

オリジナルカーの製作は新型コロナウイルス感染拡大等があり、授業内容変更があり実施が難しく中止とした。

⑬ 各科でハンドメイドカーの製作を通してものづくりの喜びと興味等を引き出し、学校内でエコランレース大会を開催することについて

エコランレース大会は令和4年5月10日に第1回を、第2回を令和4年9月18日に開催し、ものづくりの楽しさや運転技術を競い合った。

(2) 自動車販売会社及び自動車メーカーによる連携実務授業の計画

- ① マツダ(株)及び(株)東北マツダによる新入生対象春の技術セミナー、SKYACTV-D 体感セミナー … 6月6日実施
- ② 日産自動車(株)による新入生対象「ニッサン インテリジェント モビリティ+EV」セミナー … 6月14日実施
- ③ 宮城スバル自動車(株)による、新入生対象のエンジン整備・故障診断・接遇セミナー … 10月28日実施
- ④ スバルメカニックインターンシップ … 12月16日実施

(3) 学生に対する指導

- ① 自動車を扱う職業人として、道路交通法、道路運送車両法を遵守するよう教育を徹底する事や、社会人になる自覚を持たせ人間力（赤門力）を身につける指導を行う。
- ② 学生の四輪自動車、二輪自動車、自転車の整備不良車及び不正改造等を無くするため車両登録時や、年2回の車両点検を実施する。
- ③ 学生の飲酒運転や暴走運転などの重大な交通事故防止のために、交通安全講話(全学生対象)や交通安全教育(2輪通学者の実技講習は作並テストコース)を行う。
- ④ 学生の健康管理については、年1回の健康診断を全員に確実に受診させ、その結果を以って病院での治療を受ける様指導する。
- ⑤ 社会問題になっている大麻等（危険ドラッグ含む）の薬物汚染から学生を守るため、外部講話も含め徹底した指導を行う。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染防止対策として、体調確認、検温、マスク着用、消毒、換気等の徹底指導を行う。
- ⑦ 学生の安全管理について授業中や休憩時間中の事故防止に努め、事前の指導及び実習開始前の注意説明並びに作業中の注意監視を行う。
- ⑧ 学生の心身に気を配り自殺者の防止に徹底した指導を行う。
- ⑨ 学校内の学生間のいじめやいやがらせなどについての防止対策を強化するため、学生からアンケートにより情報をとり指導にあたる。
- ⑩ 学生の防災意識を高めるため、防災訓練を実施し、緊急時の災害に対処出来るよう指導強化する。
- ⑪ 学生が経済面で心配することなく安心して学ぶために、奨学金を希望する学生に奨学金が受けられるよう手続きする
- ⑫ 就学支援金(高等科)に関して、受給資格者が不正受給等なく正しい期間で就学支援金を受けているか確認する。

(4) 就職指導

- ① 日本人に関しては、求人数が学生数を大きく上回り問題無いが、留学生に関しては、各企業に留学生採用について検討して頂くよう促す。

特に東北地区の企業に対して留学生の受入れに付いて依頼をしている。山形県など検討だけで実際に受入れをしていない地域もあるが、秋田県や青森県など受入れ実施をしている地区や企業は増えている。

- ② 留学生においては採用試験の際、校内選考等により人数の偏りが起きないように就職課及び各教員で検討し受験先を決定する。

実際のエントリー希望に付いては、偏りのある企業もあるがその際に選考等にて選抜など対応をしている。

(5) 学校の主な年間行事について

No.	行事	開催日	変更事項
①	入寮日	令和4年4月2日(土) ～令和4年4月4日(月)	
②	入学式	令和4年4月5日(火)	
③	始業式	令和4年4月6日(水)	
④	新入生対象入学がダンス	令和4年4月7日(木)	
⑤	警察による交通防犯講和	令和4年4月11日(月)	
⑥	健康診断	令和4年4月12日(火) ～令和4年4月13日(水)	
⑦	消防訓練	令和4年4月14日(木)	4月20日(水)実施
⑧	交通安全	令和4年4月15日(金)	4月19日(火)実施
⑨	赤門スポーツミーティング	令和4年4月28日(木)	
⑩	赤門杯エコラン大会第一戦	令和4年5月10日(火)	教習所コース内
⑪	第一回赤門杯ラジコンカー大会	令和4年5月17日(火)	教習所コース内
⑫	赤門カーフェスティバル(日本人)	令和4年5月29日(日)	作並
⑬	赤門カーフェスティバル(留学生①)	令和4年5月30日(月)	中止
⑭	赤門カーフェスティバル(留学生②)	令和4年5月31日(火)	中止
⑮	前期試験	令和4年6月28日(火) ～令和4年7月1日(金)	
⑯	第二回赤門杯ラジコンカー大会	令和4年7月12日(火)	教習所コース内
⑰	夏休み	令和4年7月16日(土) ～令和4年8月21日(日)	2級1年のみ 7月27日(水)終業
⑱	始業	令和4年8月22日(月)	
⑲	交通安全講習	令和4年8月30日(火)	作並

⑳	赤門学院祭（エロン大会第二戦）	令和4年9月18日（日）	
㉑	第三回赤門杯ラジコンカーレース大会	令和4年10月11日（火）	教習所コース内
㉒	学友会主催芋煮会	令和4年10月20日（木）	
㉓	後期試験	令和4年11月8日（火） ～令和4年11月11日（金）	
㉔	冬休み	令和4年12月17日（土） ～令和5年1月9日（月）	
㉕	始業日	令和5年1月10日（火）	（各種レース大会の総合優勝者表彰式を行う）
㉖	春休み	令和5年3月3日（金） ～令和5年4月4日（火）	
㉗	卒業式	令和5年3月17日（金）	3月24日（金）挙行
㉘	自動車整備士資格試験日	令和5年3月19日（日）	3月26日（日）実施

〔Ⅱ〕教職員について

(1) 教職員の資質向上に務めることは重要なことであるので、外部研修、内部研修、その他自動車メーカーまたは自動車販売会社による研修を実施して、学生に対する指導力強化を図る。

① 外部研修会

いすゞ自動車（株）教職員向け研修会（新技術 ジーゼルエンジン排出ガス後処理システム：8月1日実施）教員7名参加

宮城スバル自動車 教職員向け研修会（スバル車の安全思想、最新技術など：8月4日実施）教員3名参加

② 内部教職員研修会

(イ) 温情のある指導や気配りの出来る指導によりクラスをまとめる。また、コーチング力を発揮できるよう強化する。

(ロ) 自学研鑽を強化し、自身の資質向上に励み学生の満足度を向上させる。

以下により研修会を行う。

令和4年 6月 1日(金) 15:00～17:00（職員会議）→中止

令和4年 8月 18日(木) 1日（職員研修会）→中止

令和4年 11月 11日(金) 15:00～17:00（職員会議）→中止

令和5年 1月 4日(水) 1日（職員研修会）

令和5年 3月 30日(木) 1日（職員研修会）

- (2) 一級自動車整備士資格を取得していない教員については、令和5年(2023年)3月26日 (実施予定)において2人受験し取得を目指してもらった。→2名申請したが、うち1名は実務経験不足により受理されず、もう1名は不合格であった。
- (3) 働き方改革推進のため労働基準法が改定され、年5日の年次有給休暇が義務化されております。令和4度の計画的年休取得は以下の日程で実施した。
- 令和4年 5月 2日 (月)
令和4年 8月 16日 (火)
令和4年 8月 17日 (水)
令和4年 12月 28日 (水)
令和5年 3月 31日 (金)

[Ⅲ] 入学生の募集について

- (1) 東北の各高等学校での進学説明会に参加すると共に、中学校を含め積極的に入学募集活動を行った。
- ・高等学校の校内ガイダンスは令和4年度17回参加・参加者数112名。(和3年度は27回参加・参加者239名)オミクロン株流行の影響で令和4年度は高校ガイダンスの開催自体がさらに減少した。
 - ・高校訪問は宮城県内の進学校を除く全校、山形県は進学校除く、山形市内を中心に実績のある高校(ガイダンス・見学会参加者、資料請求者、卒業生、在校生等)を訪問。さらに、山形市外や他の東北4県については高校ガイダンス参加の際、会場付近の高校を訪問した。
 - ・中学校は宮城県の全校を訪問した。また県外については高校ガイダンス参加の際に会場付近の中学校を訪問した。
- (2) 1級科及び2級科入学希望者を対象としたAO入試を更に浸透させ、入学生の早期獲得を図った。
- ・令和4年度AO入試利用者は8名と令和3年度10名を下回ってしまった。今一度AO入試の周知活動を継続して行い、メリットを伝えていき、日本人学生の早期獲得へつなげなければいけない。
 - ・本年度の入学生は122名となった。(令和3年度125名より6名減少)留学生は昨年度に比べほぼ横ばいだが、日本人比率が低く、学生確保が必要となる。
- (3) 当校内での学校見学会及び体験学習を4月より令和5年3月まで行い入学生の増加を図った。
- ・見学会開催日を増やし、日本人参加者数は102名と令和3年度72名を上回った。
- (4) 7月から12月まで月1回3級科希望者対象学校見学会を開催し入学生の増加を図った。
- ・全日程通して4名の参加(令和3年度3名)となった。

- (5) 6月18日(土)及び8月23日(火)に赤門授業見学会2022(全科)を開催し入学生の増加を図った。
- 6月18日(土)開催分の参加者は合計で7名となった。(令和3年度高校生6名)
 - 8月23日(火)については4名の参加があった。(昨年度はコロナの影響で中止)
- (6) 7月27日(水)体験実習会を開催し、入学生の増加を図った。
- 参加者は10名となった。(令和3年度は8名の参加)
- (7) 9月18日(日)赤門学院祭は同時開催予定のオープンキャンパスに14名の参加があった。(昨年度はコロナの影響で中止)
- 同時開催予定のオープンキャンパスには早い段階で6名の予約が入っていた。
- (8) 11月19日(土)3級科希望者対象のメカニカルカレッジオープンキャンパス2022を開催し学科及び実習授業の見学、本年度から授業体験の時間も取り入れ、内容を充実。入学生の増加を図った。
- 参加者は9名(令和3年度11名)と減少したものの、内容の充実により、参加者から6名の専願による出願があった。
- (9) 各高等学校・中学校及び資料請求者へ見学会案内状を出した。
- 高等学校・資料請求者
 - 6月中・・・7月上旬から開始するAO入試に合わせ学校見学会について
 - 8月中・・・赤門体験実習会について
 - 9月中・・・一般選考開始のご案内
 - 中学校・資料請求者
 - 6月中・・・3級科希望者対象見学会及び専願について
 - 8月中・・・オープンキャンパス・赤門学院祭開催のご案内
 - 10月中・・・メカニカルカレッジオープンキャンパスの案内および専願について
 - 2月中・・・一般選考受付中の案内
- また資料請求者、高校ガイダンス参加者、学校見学会参加者に年3回発行の「赤門Times」も合わせて発送した。学校見学会参加者には入学に繋がるようお礼状も発送した。
- (10) 時代のニーズに応えるため1級自動車整備士科の存在意義を高め積極的に募集活動を進めた。
- 1級科の入学生は4名(令和3年度9名)と減少した。3級科の学生の校内進学及び、2級科の学生への1級科編入へのアプローチも含め、引き続き1級の重要性を高校生に伝え、1級科入学生を増やす事が課題。
- (11) 国際化時代を踏まえ外国人留学生の入学募集及び受入れを積極的に促進した。
- コロナ禍による入国制限で日本語学校2学年の卒業生がほぼいない状況であった為、専門学校へのアプローチや、在学生への紹介制度説明会及びオンライン説明会を行い、全国からの学生確保に務めた。

- ・5月から令和5年3月にかけて留学生対象見学会を開催し、89名の参加があった。11月頃に県内・県外の日本語学校が、特例で1学年修了でも専門学校の進学を認める決定をした為、11月以降に見学会への参加が活発化した。

(12) 在校生から1級科3年への編入学生、3級科から2級科への入学、また2級科、3級科からの入学を促進するため説明会や各科への見学会を開催した。進学説明会日程は下記の通り開催した。

- 3級自動車科 全学年対象
第1回 4月27日(水)
第2回 7月8日(金)
第3回 3月9日(木) ※1・2学年のみ
- 2級自動車科 1年対象
第1回 4月27日(水)
第2回 7月8日(金)
第3回 3月9日(木)

(13) 令和5年度の募集要項・学校案内の作成を行い、4月下旬に完成した。

(14) HP、SNSなどを通して中学・高校生、留学生に新鮮な情報を提供するよう、更新を行った。

[IV] 施設及び設備の環境整備について

- (1) 各校舎等の点検・修理・管理を徹底し、学校施設等の維持・管理を行った。
- (2) 実習場及び教室の清掃、整理整頓を徹底し環境整備を図ると共に安全性を行った。
- (3) 実習教材及び実習用機器の維持管理を徹底し、不具合がある場合は、早急に修理または更新などを行い、充実した教材、テスター機器等を提供した。
- (4) 施設や設備に不備が生じた場合は、早急に修理、または、改善するなどして勉学に支障ないように行った。
- (5) 消防用設備等の不具合が発生した場合や不具合の兆候が見られた場合は、早急に修理等を実施し機能の回復を行った。
- (6) 消火器や消火栓のホース等の消防設備、及び火災報知器等の機能点検は法令に基づき、計画的に実施した。
- (7) 地震があった時を想定し、校舎内外の備付備品等、落下物などの環境整備を行った。
- (8) 校舎、学生寮室内外の清掃、整理整頓を行い、学校の環境整備を行った。
- (9) 校舎、学生寮室からの出火を防止するため、可燃ごみの処理や寮室内での喫煙者に対し

て灰皿には水を入れることの指導、各空室の施錠管理を行うように、教職員及び寮監が校内巡回及び、各寮室の巡回訪問を定期的に行いました。

食堂の保健衛生を強化し、食中毒などの感染症の発生を予防するよう衛生管理を徹底しました。

また寮室での調理についても食材の保管状態等を定期的に巡回訪問にて指導しました。

(10) 感染症対策として特に人の出入りが多い受付、学生食堂、講堂に設置してある自動検温器の点検や受付・食堂等に設置しているパーテーションの点検・補修等を行い安全対策を行った。

また、教室や実習室及びトイレ等の入口付近に設置している消毒用アルコールや液体石鹼の残量確認及び液補充作業を行い日々の感染予防対策を徹底した。

定期的に人が集まる場所や感染が確認された教室や寮については、安全対策を施して消毒作業を実施し感染拡大を抑えるよう行った。

[V] その他の事項について

① 芋煮会について

令和4年10月20日(木)に学友会主催で第5回芋煮会を予定通り行い、各国独自の味付けもあり、学生は楽しみながらコミュニケーションを取っていた。

② 自動車生産工場及び自動車ディーラー等の見学について

全国的に新型コロナウイルス感染拡大があり実施できなかった。

令和4年度も、トヨタ東日本自動車(株)内での職員に感染するリスクもある説明を受け、令和4年度も工場見学は中止となっている状況である。

[VI] 会議の実施状況

● 規定の会議について

会議名	No.	開催年月日	議事	備考
理事会・評議員会	1	令和4年5月27日 (木) (実出席及びオンライン開催)	第1号議案：令和3年度事業報告書(案)の承 認について	理事会： 12:40～ 13:50 評議員会： 14:00～ 15:10

理事会・評議員会	2	令和4年8月2日(火) (実出席及びオンライン開催)	<p>第2号議案：令和3年度財産目録(案)、資金収支計算書(案)、事業活動収支計算書(案)、貸借対照表(案)の承認について</p> <p>第3号議案：収益事業の見直しについて</p> <p>第1号議案：任期満了に伴う役員改選の承認について</p>	<p>理事会： 14:00～ 14:30 15:30～ 16:00</p> <p>評議員会： 14:35～ 15:25</p>
評議員会	4	令和4年12月19日 (月)(実出席及びオンライン開催)	<p>第2号議案：青葉区川内川前丁の土地の購入の承認について</p> <p>第3号議案：専門職大学教員寄宿舎の建築工事費の予算増額の承認について</p> <p>第1号議案：電動モビリティシステム専門職大学の「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災害賠償責任保険」の加入について</p>	<p>14:00～ 14:30</p> <p>評議員会： 12:50～ 14:50</p>
理事会・評議員会	5	令和5年3月29日 (水)(実出席及びオンライン開催)	<p>第1号議案：理事及び評議員の辞任について</p> <p>第2号議案：令和4年度収支補正予算書(案)の承認について</p> <p>第3号議案：令和5年度事業計画書(案)の承認について</p> <p>第4号議案：令和5年度収支予算書(案)の承認について</p> <p>第5号議案：専門職大学実習棟Ⅱの建築設計について (工事着工：令和6年4月予定)</p>	<p>理事会： 15:00～ 17:00</p>

			<p>第6号議案：専門学校赤門自動車整備大学の学則変更について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第10条3. 三級自動車整備士科(2)の課程名修正について 2. 2級自動車整備士科留学生の授業料変更(案)について 3. 3級自動車整備士科の授業料及び施設費変更(案)について <p>第7号議案：専門職大学設立委員会開催…設置認可に伴う諸規則の承認について</p> <p>その他報告事項：電動モビリティシステム専門職大学開設準備状況について</p>	<p>14:20～ 15:40</p> <p>外部出席委員1名 内部出席委員5名 合計6名</p> <p>13:50～ 15:10</p> <p>外部出席委員2名 内部出席委員5名 合計7名</p> <p>14:00～ 15:00</p> <p>外部出席委員1名 内部出席委員4名 合計5名</p>
教育課程編成委員会	6	令和4年12月15日(木)	「自主性を持たせ、離職しない学生を育てるには」	
教育課程編成委員会	7	令和5年1月23日(水)	「自主性を持たせ、離職しない学生を育てるには」	
学校関係者評価委員会	8	令和5年1月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の結果について説明 ・自己評価の結果について審議 	

[VII] 電動モビリティシステム専門職大学設立について

- 令和4年8月31日に東北で初の専門職大学として正式に設置が認可されました。

日時	進捗状況	備考
R4.8.31	設置認可について、文部科学省大学設置・学校法人審議会において審議の上、答申公表（判定「可」）	文部科学省 HPにて公表
R4.9.5	大学設置認可書受取（郵送）	飯豊町の設置準備室に届く
R4.9.5	学校法人組織変更認可書及び学校法人組織変更認証書到着（郵送）	県総務部私学・公益法人課に届く
R4.9.6	県総務部私学・公益法人課にて学校法人組織変更認可書受取 →受取日が謄本上の「目的等」の変更日、「従たる事務所」の設置日となる。	
R4.9.6	開学正式認可における記者会見（15時より大学で学長候補者と飯豊町長と合同）	報道関係者 11社来校
R4.9～	学生確保のための高校訪問・入学者選抜要項及び大学案内送付・指定校協定書送付・ONLINE 大学説明会開始	理事長・副理事長・学長予定者・教授予定者
R4.9.7～8	臨地実務実習協力企業訪問	理事長・副理事長・小関室長
R4.9.17～30	山形県及び宮城県においてテレビ CM 放映	
R4.10.8～9	第1回 FD・SD 研修実施	
R4.10.14	文部科学省に登記事項変更登記完了届を提出 添付書類…登記事項証明書（登記簿謄本）・事務担当者連絡票	
R4.10.22～23	第3回 FD 研修実施	
R4.10.26	文部科学省に授業料免除等申請	
R4.11.1～11	入学者選拔出願（総合型選抜・学校推薦型選抜） → 出願者なし	
R4.11.5	第4回 FD 研修実施	
R4.11.26	入学者選抜試験（総合型選抜・学校推薦型選抜） → 出願者がいなかったため中止	
R4.12.2	文部科学省に提出した授業料免除等申請承認	
R4.12.3	第5回 FD 研修実施	

日時	進捗状況	備考
R4.12.10	第6回FD研修実施	
R4.12.20	公認会計士と決算業務契約締結	
R4.12.21	専門職大学設置業務等報告送付	当法人理事・評議員・監事
R5.1.7	第7回FD研修実施	
R5.1.10～20	入学者選拔出願（一般選抜） → 出願者3名	
R5.1.17	非課税に関する開学現地確認	飯豊町役場税務室
R5.2.4	入学者選抜試験（一般選抜）	山形会場：1名 仙台会場：2名
R5.2.10～17	入学者選拔出願 追加募集（総合型選抜） → 出願者なし	※A日程
R5.2.13	入学者選抜試験（一般選抜）合格者発表 →合格者3名	
R5.2.15～24	入学者選抜試験（一般選抜）入学手続き期間 →1名の入学手続有	
R5.2.25	入学者選抜試験 追加募集（総合型選抜） → 出願者がいなかったため中止	※A日程
R5.3.3～10	入学者選拔出願 追加募集（総合型選抜） → 出願者なし	※B日程
R5.3.17	入学者選抜試験 追加募集（総合型選抜） → 出願者がいなかったため中止	※B日程
R5.3.13～16	入学者選拔出願 追加募集（総合型選抜） → 出願者2名	※C日程
R5.3.24	入学者選抜試験 追加募集（総合型選抜）	※C日程
R5.3.27	入学者選抜試験 追加募集（総合型選抜）合格者発表 →合格者2名	※C日程
R5.3.29～31	入学者選抜試験 追加募集（総合型選抜） 入学手続き期間	※C日程
R5.4.5	入学式	報道関係者 10 社来校
R5.4.10	授業開始	

※入学者選拔出願 追加募集（総合型選抜）の選抜方法は、書類審査（入学志願書と調査書）及びオンライン面接試験による。

[VIII] 収益事業について

(1) 自動車整備業について

令和4年8月31日付で文部科学省から専門職大学の設置が認可されたものの、設置申請時から収益事業の収支の赤字の指摘があり私立学校法付の趣旨を踏まえ、その在り方

について検討し、次の改善策を計画した。

- ① ビークルコクブン 48 に関しては、空いているスペースの賃貸業からの不動産収入を強化し不動産業へシフトしていくことで工場全体としての収益向上を目指す。合わせてそのための人材も確保する。
- ② ビークルコクブン 48 の経営改善のため、過大な減価償却費の見直しに着手した。具体的には、企業会計で対応可能な減損処理が適用できるか判定した。その結果、処理が可能であると判断できたため、今年度に約 6,000 万円の減損損失を計上した。これにより、減価償却費が次年度より軽減され、改善に寄与することができる。
- ③ ②の減損処理だけでは、経営改善には不足であるため、今後作成する中長期計画に収益事業の見直しの具体策を盛り込む。

(2) 貸間及び不動産業について

今まで業者に管理業務を委託していたシェルメゾンに関して、引き続きこちらで直接管理することによる全体のきめの細かい管理（賃料の値下げ、Wi-Fi、ドアインターホンの設置等はすでに実施）を行い、入居率を上げる。

※ビークルコクブン 48 で現在貸出している状況

	区画	面積 (㎡)	主な用途	使用状況
①	C 棟 1 階	30.0	倉庫	空き
②	D 棟	61.6	倉庫	入居
③	B 棟	42.5	倉庫	入居
④	A 棟 2 階	50.0	事務所/作業所	空き
⑤	A 棟 3 階	151.0	作業所	入居
⑥	A 棟 2 階	67.8	倉庫	空き
⑦	A 棟 2 階	513.0	事務所	空き
⑧	A 棟 3 階	402.0	事務所/作業所	空き
⑨	C 棟 1 階	258.0	作業所	入居
⑩	C 棟 2 階	297.9	寮	入居
合計面積 (㎡)		1,873.80		

※シェルメゾン・川内パンスヨンの現在の入居状況

物件名	部屋数	入居数
シェルメゾン	8	7
川内パンスヨン	10	8